令和７年度交付文化振興補助金報告会		
開催日時	令和８年 10 月 16 日（金）　午後２時から午後４時まで	
開催場所	奈良市役所　北棟６階　602 会議室	
出席者	委　員	上田委員
	報告者 (事業者名)	一般社団法人高畑トラスト、春日野音楽祭実行委員会、学園前街育プロジェクト実行委員会、大和国際音楽週間実行委員会、特定非営利活動法人まほろば円舞会、平城京魅力創造発信実行委員会、特定非営利活動法人奈良芸能文化協会
	事務局	吉川文化振興課長、荒益課長補佐、森係長、徳山、瀬川
開催形態	公開（ただし、結果的に傍聴人なし）	
議　題	（１）都市文化推進支援事業　事業報告及び質疑応答 ①　一般社団法人高畑トラスト ②　春日野音楽祭実行委員会 ③　学園前街育プロジェクト実行委員会 ④　大和国際音楽週間実行委員会 ⑤　特定非営利活動法人まほろば円舞会 ⑥　平城京魅力創造発信実行委員会 ⑦　特定非営利活動法人奈良芸能文化協会 （２）審査員総評	
決定事項	なし	
添付資料	なし	

議事の内容

（１）都市文化推進支援事業　事業報告及び質疑応答

７団体の事業について、報告及び質疑応答を行った。

【一般社団法人高畑トラスト（日本の伝統技術のグローバルな魅力再発見事業）】

●報告内容

奈良市高畑町にある国登録有形文化財「藤間家住宅」の保全と活用に取り組み、老朽化した建物を少しずつ修復しながら、現代美術の展示や国内外のアーティストによる滞在制作、日本の伝統技法である金継ぎや掛軸制作の指導プログラム等を実施した。

●質疑応答

・参加者の募集はどのように行ったか。

→主にオンラインでの募集を行い、自社 HP、SNS 等での広報も行ったほか、海外の日本文化機関とも連携し募集を行った。

・滞在型制作の期間中には、高畑町の街並みを紹介・見学するような、フィールドワーク的なプログラムは行ったか。

→プログラムの構成として、それに関わる奈良の場所を見学することも盛り込んでいる。７年度は墨工房等を見学した。

【春日野音楽祭実行委員会（第 10 回春日野音楽祭）】

●報告内容

奈良公園エリアを中心とした 8 か所の会場にて、入場料無料の野外及び室内音楽コンサートを開催。令和 7 年度は 10 回目となり、プロからアマチュアまで幅広いジャンルのミュージシャンが参加し、市民公募のステージや大合奏等の演奏が行われた。

●質疑応答

・奈良公園を音楽のまちにしようと考えたきっかけはあるか。

→当初は春日大社の第 60 次式年造替を祝う形で 2015 年に開催した。
1 回きりの予定だったものが、好評により 10 回継続している。

・人的配置やマネジメント等は大変ではないか。

→実行委員会やボランティアの方の多くは、過去に運営された経験があり、
10 年続けてきたことで、運営の技術というものが積み上がっていると感じる。
また、当初は中核メンバーを中心に運営していたが、人員も徐々に入れ替わりが進んでいる。

【学園前街育プロジェクト実行委員会（学園前アートフェスタ 2025～地元作家展と小さな音楽祭～）】

●報告内容

奈良市の近鉄学園前駅周辺エリアを舞台に、アーティストを招聘し、地域とともにアートフェスタを開催。令和 7 年度はローカルに着目し、奈良市在住の美術家による展示会や奈良市在住の音楽家によるミニコンサートに加え、子どものワークショップ等を開催した。

●質疑応答

・ローカルに着目したことで、今回印象的だったことはあるか

→会場を例年より少なくし、奈良在住の方々の発表に特化した分、参加者やボランティアで事業に関わってくださる方々の繋がりを感じることができた。

・学園前エリアということであるが、大渕池公園でのアート展示の想定はあるか

→駅から徒歩圏内、ということを想定しており、その意味では大渕池公園は少しエリアから離れていると思われるが、検討していきたい。

【大和国際音楽週間実行委員会（大和国際音楽週間）】

●報告内容

国内外の演奏家によるマスタークラス（公開レッスン）や演奏会を通じ、国際的な文化交流を推進した。地域に根ざした音楽文化の振興として奈良県総合医療センターや高齢者施設等での演奏の実施、音楽を通じた教育的・福祉的役割が実践的に行われた。

●質疑応答

・初めて市の補助金採択となったが、市に貢献できた具体的な成果はあるか

→クラシック音楽のマスタークラスや病院での演奏会等を行い、参加者に西洋の一流の音楽体験を提供できた。また、海外の演奏家にも日本の歴史の素晴らしさや価値に改めて感じてもらうことができたと感じている。

・事業開催には財源が必要であると思うが、事業費についてスポンサーを募る等は行ったか。

→クラシック音楽で単純に協賛を募るというのは難しく、不足分については団体の自己資金から運営を行った。

【特定非営利活動法人まほろば円舞会（2025 まほろば円舞会)】

●報告内容

2010 年から毎年開催しているダンスと歌と音楽の祭典。第 1 部は音楽劇ダンスファンタジー（今回は女帝持統の物語)、第 2 部は子どもから高齢者・障がい者が一同に集い、世代やダンスジャンル、 プロもアマも垣根を越えたダンスの祭典を開催した。

●質疑応答

・参加者のうち、招待客等はいらっしゃるか。

→スポンサー獲得のために一年中走り回っているが、そのリターンとして、パンフレットへの企業広告掲載や、招待チケットの配布等を行っているので、その方々が当日の招待客。

・主催者の後継者等の問題も発生していると思うが、その点は問題ないか

→長年悩まされてきたが、後継者候補が見つかり、一安心している。

【平城京魅力創造発信実行委員会（平城京隼人祭)】

●報告内容

古代における大和王権と隼人（古代日本において現在の鹿児島県本土や宮崎県南部などの南九州に居住していたとされる人々）の関係を広く奈良市民に発信するため、屋内では講座、朗唱、演奏を実施、また屋外では隼人神の舞という神楽を実施した。

●質疑応答

・イベントを開催により様々な人と関わるようになったということはとても素晴らしいこと。鹿児島県等の皆さんとコミュニケーションを促すようなことは行ったか。

→例えば隼人神の舞は「盾」を用いてのダンスとなるのだが、その盾のワークショップを、鹿児島大学と地元の小学生と行った。また奈良や京都には隼人の末裔がおり、その方々が事業に興味を持って来ていただき、様々な交流に繋がった。

・隼人祭りはこれからも継続して開催される予定か
→今回、隼人の伝統的な舞を、鹿児島大学の学生達が今回のために現代風にアレンジしていただき、非常に好評であったので、ぜひ継続させていきたいと考えている。

【特定非営利活動法人奈良芸能文化協会（日本トスティ歌曲コンクール事業)】

●報告内容

奈良出身、在住の奈良にゆかりのある声楽家による、トスティ歌曲を中心としたイタリアのうた、日本のうたによる日伊文化交流コンサートを開催したほか、トスティ歌曲を独唱する声楽のコンクールや奈良市立大宮小学校にてアウトリーチコンサートを行った。

●質疑応答

・小学校でのアウトリーチコンサートは初めての試みであったが、工夫された点や大変だったことはあるか
→コンサートだけではなく、日伊交流ということで、イタリア人の先生による食文化の紹介や、日本とイタリアの小学校の違いの紹介、子供たちに体を動かしてもらう遊び等を行った。

・東京でのコンサートの際に奈良をアピールする等は行っているか。
→国際交流協会より奈良の紹介ビデオを借りて、演奏会前に奈良を紹介する等の工夫を行っている。

２．審査員総評

- 事業の大変なところというものは共通している部分が多く、今回の報告会や今後の交流によってそれらが解消できればと思う。

- 事業の情報を届けたい人たちがいるがまだ届いてない､届け方がわからないという悩みもあった｡広報や､場所を持っている事業者とのつながり等を活用していただければと思う。

（署名委員）

委　員 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿